

ベリーズ犯罪等発生状況（令和6年6月分）

〔殺傷事件関連〕

6月1日〔銃撃事件〕 午後9時頃、オレンジウォーク郡サンペドロ村において住民の女性（22歳）が銃撃される事件が発生した。被害者の女性は、内縁の夫と他の男性3名と自宅の庭で話をしていたところ、銃撃犯が近づきフェンス越しに発砲し、被害女性は両足を1発ずつ、計2発撃たれ重傷を負い、サンペドロ総合病院へ救急搬送され治療を受けた。警察は防犯カメラの映像を確認中だが、現時点で容疑者は特定されていない。

6月2日〔銃撃事件〕 午前6時頃、カヨ郡サンイグナシオ町で銃撃事件が発生し、男性2名が負傷した。警察によると、この銃撃事件はタクシー運転手（21歳）を狙った犯行だと見られており、タクシー運転手に赤い服装の不審男性が近づき11発もの銃弾を発射した。この襲撃により、近くにいた35歳と40歳の別の男性2名が負傷した。なお、このタクシー運転手は事件前、誰かと激しく口論しているところを目撃されており、警察は因果関係を調べている。

6月6日〔銃撃事件（※当館注目事件）〕 午前7時頃、カヨ郡サンタエレナ町において、レストランを営んでいる中国人男性が銃撃され、死亡する事件が発生した。各紙報道によると、被害男性が早朝に自宅兼、レストランに到着した際、バイクに乗った2人組の男性が現れ、銃で脅しながら金銭を要求してきた。被害男性は逃走を試みるが、レストラン前で2発撃たれた。その後、助け求めながらその場を離れたが、銃撃犯に追いつかれ3発の銃弾を受け死亡した。警察は事件を捜査すると共に、地域住民に対して犯罪が増加傾向にあるとして注意を呼びかけている。

6月6日〔銃撃事件〕 午後6時頃、ベリーズシティ・ベリーズ港の海岸沿いの道にうつ伏せの状態になっている男性の遺体が発見された。警察によると、死亡した男性の家族から男性が夕方になっても帰ってこないと相談を受け捜索したところ、複数の銃弾を負った男性の遺体が見つかった。事件現場からは複数の薬莢が回収され、警察は男性が何らかの事件に巻き込まれた可能性があるとして、捜査を続けている。

6月8日〔刺傷事件〕 午後6時頃、ベリーズシティにおいて男性（31歳）がナイフで刺され、重傷を負った。被害男性は自宅近くで犬の散歩をしていたところ見知らぬ男性と道ばたで口論となりナイフで襲われた。被害男性は複数の刺し傷を負い、KHM病院へ救急搬送され治療を受けている。警察は使用されたナイフを回収しており、周辺住民へ目撃情報を求めている。また、容疑者の男性はその場から逃走しており、現在、警察が行方を追っている。

6月9日【銃撃事件】 午前11時頃、ベリーズシティのリベロ通りにおいて銃撃事件が発生した。同日正午頃、リベロ通りで銃声があったとの通報があり、現地へ向かった警察官が銃撃を受けて苦しんでいる地元労働者の男性（28歳）を発見した。被害男性はその後、KHM病院へ救急搬送され、治療を受けている。警察によると、被害男性は自宅の庭で過ごしていたところ、隣の茂みから複数の発砲があり、被弾した。また、自宅周辺を捜査した結果、被害男性宅に複数の銃弾の跡が見つかった。事件の動機は依然として不明のため、警察は周辺住民へ目撃情報を求めている。

6月19日【銃撃事件】 午後7時頃、ベリーズシティ南部地域において、警察に銃撃された男性（20歳）1名が死亡、男性の父親が軽傷を負った。同日の夕方頃、被害男性の父親から車が故障した旨の連絡があったため、男性は父親が待つベリーズシティ南部地域へ行き、車の修理を手伝っていたところ、突然発砲され男性は即死し、父親はかすり傷を負った。この件で遺族は、警察官がギャング組織の一味と間違えて発砲したものであると訴えたが、現在のところ警察からは何の発表もされていない。

6月22日【銃撃事件】 午前1時頃、ベリーズシティのピットアレー通りにおいて銃撃事件が発生し、男性（50歳）が死亡しているのを発見した。警察によると、同日午前1時30分頃に通報があり、現地へ警察官が駆けつけたところ、複数の銃弾を受けて地面に横たわっている被害男性を発見し、すぐにKHM病院へ救急搬送した。初期捜査の情報では、身元不明な不審男性が被害男性へ近付き、いきなり複数発砲したとされている。現場からは空の薬莖4個と弾丸1個が発見されており、現在も警察の捜査が続けられている。

6月23日【警察分署の銃撃事件（※当館注目事件）】 午前1時頃、カヨ郡ローリングクリーク村にある警察分署が銃撃に遭った。警察によると、同時間帯に警察分署の入り口前で交代を待っていた警察官が白いフードを被った不審男性が近付いてくるのを発見した。不審男性は銃を取り出し、警察分署へ向け複数発砲した。この事件によるケガ人は出ていないが、警察分署の壁や窓に合計13発の弾痕を発見した。銃撃犯はその場から逃走した。

6月25日【警察長官宅への銃撃事件（※当館注目事件）】 午後11時頃、カヨ郡ベルモパン市内の警察長官宅において銃撃事件が発生した。事件当時、長官宅には息子が1人で過しており、銃撃に遭った際に息子から長官へ連絡し、長官から最寄りの警察署へ至急駆けつけるように指示がされた。長官の息子にケガはなく、長官自身も国連警察長官会議へ出席するためニューヨークへ向かっていた。なお、警察長官は今回の事件に対して強く非難し犯人を必ず逮捕して裁きを受けさせると声明で述べている。

6月26日【銃撃事件】 午前7時30分頃、ベリーズシティのサディ・バーノン工業高校の男

性警備員が、警備詰め所内で死亡していると出勤した教員から通報があり、警察官が駆けつけたところ、警備詰め所内の机の上に突っ伏した状態で流血している男性警備員を発見した。警察によると、警備詰め所には3カ所の弾痕と、使用されたと思われる空の薬莢3発が回収されており、被害に遭った警備員が何らかのトラブルに巻き込まれたか、あるいは無差別的に銃殺された可能性があるとしている。なお、校内で争った形跡はなく、現在も警察による捜査が続いている。

[強盗事件関連]

6月5日[精肉業者の配送トラック襲撃強盗事件] 午後1時30分頃、ベルモパン市内の店舗へ販売のため配送に向かったトラックが襲撃された。警察によると、カントリーミーツの従業員2名がベルモパン市内の商品を店舗で販売をしていたところ、武装した覆面の男性2人組がバイクに乗って現れ、1人が銃で従業員達を脅し、残りの襲撃犯が従業員達の財布と携帯電話、トラックの中に保管されていた午前中の売り上げを奪い取った。なお、被害総額は5,700BZD(約45万円)に上り、警察は引き続き捜査中を行い、逃走した犯人達の行方を追っている。

6月5日[盗難事件] 午後11時頃、ベリーズシティのジョージ・プライス・ハイウェイ沿いにあるステーキ島開発会社において、強盗事件が発生し、同社が所有する32フィートの大型ボートが盗難被害に遭った。事件当時、2名の警備員の証言によると、武装した4名の強盗犯の襲撃に遭い、警備員達は銃で脅されその場に拘束され、運河に係留していたボートが盗まれた。この事件について会社側は被害総額について言及しておらず、また、警察によるとこれまでのところ逮捕者はおらず、盗まれたボートの行方もわかっていない。

6月11日[車両盗難事件] ベリーズシティ在住の男性(27歳)が同市内において5月20日、23日、27日に車両を窃盗した罪で逮捕、起訴された事件について、同11日に法廷へ出廷し、保釈が決まった。事件は、容疑者の男性が同市内のレンタカー店から3万BZD(約240万円)相当のシボレー製の車両を1台ずつ、合計3台の車両を盗んだ。治安判事は容疑者男性へ3千BZD(約24万円)の保釈金の支払いと、保釈金の保証人1名をつけることの他に、被害に遭ったレンタカー店への接近禁止及び、同店へ一切の干渉をしないことを保釈の条件とした。

6月14日[ガソリンスタンド襲撃強盗事件] 午後10時頃、ベルモパン市内にあるガソリンスタンドにおいて襲撃強盗事件が発生した。通報を受けて駆けつけた警察官が同店で警備をしていた男性が銃で足を撃たれ負傷しているのを発見した。さらに警察によると事件当時、銃で武装した2人組の男性がバイクに乗って現れ、当初は客を装っていたが、その後、

男性警備員へ発砲し負傷させ、同警備員が所持していた銃を強奪し、ガソリンスタンドの従業員 2 名から現金を奪い取って逃走した。なお、男性警備員は西部地域病院へ救急搬送され、命に別状はない。

[麻薬密輸、違法銃器等関連]

6 月 1 日[**麻薬摘発事件**] 午後 2 時 30 分頃、ベリーズシティ南部の住民 4 名が麻薬所持の罪で逮捕、起訴された。事件は、警察がパトロール中に不審な 4 人組の男性を発見し、捜査をしたところ、エボニー通りにある主犯格と思われる女性宅から大麻草 67 グラムを発見した。共犯者の内 1 名は、密売のために所持していたことを認めたが、他の 3 名は相次いで無罪を主張した。

6 月 26 日[**違法銃器類の押収**] 同日、ベリーズシティ及びカヨ郡のサンイグナシオ/サンタエレナ町において犯罪が急増していることを受け、警察による一斉捜査が行われた。今回の捜査で警察は、サンイグナシオ/サンタエレナ町で拳銃 4 丁と多数の弾薬を押収し、同地域における犯罪取り締まりの成果であることを述べている。また、ベリーズシティでは、同月 24 日に発令された非常事態宣言以降、指名手配されたギャング組織の構成員やその他犯罪者を逮捕、拘留し、この際に多数の違法銃器類を押収している。

[その他事件・事故関連]

6 月 11 日[**犯罪への新たな取り組み（※当館注目事件）**] サンイグナシオ/サンタエレナ町での犯罪急増を受け、同町の議会は警察長官たちとの公開会議を開催した。同会議で警察長官は、サンタエレナ町に新しい警察分署を設立し、同町における犯罪への即応やパトロールを強化し、犯罪防止と安全の維持向上に努めると述べた。また、住民に対し、犯罪と思われる疑わしい行為は速やかに通報し、犯罪撲滅への取り組みに協力するよう呼びかけている。

6 月 18 日[**詐欺事件の女性容疑者（※当館注目事件）**] オレンジウォークのメノナイトに対して土地販売の詐欺行為をした女性（50 歳）が逮捕、起訴されたが、保釈された。事件は、政府の土地改良事業の担当者を装った被告女性が、ベリーズ国内の裕福なメノナイトに対して土地区画整理話を持ちかけ、土地譲渡の手続き手数料として数百万 BZD（※百万 BZD＝約 7,900 万円）を騙し取った。数日後、ベリーズシティで開催されたトリニバット系音楽のコンサート会場の帰りに、この被告女性は銃撃事件に遭い、パートナーである男性（30 歳）が負傷した。

6 月 24 日[**非常事態宣言の発令（※当館注目事件）**] 正午頃、ベリーズシティ南部地域及

び、カヨ郡のローリングクリーク村、コットンツリー村において非常事態宣言が発令された。ベリーズシティ南部地域を中心に活動しているギャング組織による抗争激化や、また、同月 23 日に発生したローリングクリーク警察分署の銃撃事件の犯人として逮捕されたのがギャング組織の一味であったこともあり、政府により可決、警察長官により非常事態宣言が発表された。なお、同年内に 2 回も非常事態宣言が発令されたのは、2020 年の前政権以来 4 年ぶりのことである。